

(公社) 奈良県放射線技師会 学術大会 2020

会員研究発表 演題募集のお知らせ

日時：2020年11月03日(火)

場所：奈良県社会福祉総合センター

【大会テーマ】

『奈良県の救命救急医療の現状

～ 今を知りどう動くか ～ 』

近年、高齢化の進展、住民の意識の変化等の社会情勢の変化により、救急利用が増加・多様化している。本県においても救急搬送される患者数は年々増加傾向にあり、救急搬送に要する時間が増え、救命や後遺症の有無に影響を与えかねない状況となっている。救急医療では、重症度・緊急度に応じた医療をスピーディーに提供することが求められている中、問題点が多く存在する。救急医療機関のスタッフ不足もその一つである。また我々の関係する画像診断検査においても、医師・看護師不足から診療放射線技師が一人で検査を行なっている施設もある。さらに救急医療では、各職種が担う業務内容においても数々のグレーゾーンがあり、医療安全面において問題視されている。

この様な現状を把握・共有し、多職種間の考えや意識する部分をディスカッションすることで救急医療におけるチーム医療を考える機会としたい。

※皆様へのお願い※

新型コロナウイルス感染症のこれからの状況により、参加人数の制限や開催を断念せざるを得ないことも予想され、今後の状況を見ながら対応していこうと考えております。

皆様にはご迷惑をおかけしますが何卒ご理解ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

会員研究発表	<p>救命救急医療に関する演題、それ以外の分野の研究発表でも構いません。各施設の日常業務の様々な工夫や研鑽を是非ご発表いただき、診療放射線技師の未来に繋がる時間を共に過ごしましょう。</p> <p>学術発表を経験されたい方、もっと経験を積みたい方もこの機会に是非チャレンジしてみませんか？ 皆様からの演題を心よりお待ちしております。</p>
演題募集期間	2020年7月1日～2020年8月31日
発表形式	口述発表（プレゼンテーション7分、質疑3分）
応募資格	技師会会員（但し、2019年度奈放技・日放技会費完納者） 入会手続き中の方も発表可
演題区分	「撮影技術」「機器管理」「接遇」「医療安全」「救急医療の現状と体制」 「被ばく管理」「線量管理システム導入に向けた取り組み」等
応募方法	<p>下記の奈良県放射線技師会のホームページにアクセスし、抄録フォーマットをダウンロードしてご記入ください。</p> <div style="text-align: right;"> <input type="text" value="奈良県放射線技師会"/> <input type="button" value="検索"/> </div> <p>http://www.rokuen.jp/wwwpages/login.html</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フォーマットに従って必要事項を明記して下さい。 2. フォーマットの書式、フォントおよびフォントサイズは変更しないでください。図表を使用しないでください。数字は半角でご記入ください。 3. 抄録本文は800字までとします。 4. フォーマットを発表者本人が連絡可能なPCアドレスから送付してください。 5. 演題の採否は学術委員会にて行い、募集期間終了後メールにて通知いたします。
送付先	学術委員長 野儀 明宏 nogi@rokuen.jp

★併せて学術大会実行委員も募集中★お問い合わせ 奈良県立医科大学附属病院 野儀 明宏 (nogi@rokuen.jp)